

「子ども達の笑顔」 (2018.8.10)

タイスパンブリー県 ノーンジクヤーウ小学校でのフライングディスクを用いたプロジェクト「アートキャラバン2018 第2回フライングディスク教室IN THAILAND」が無事に終了しました。当日はノーンジクヤーウ小学校の校長先生、教職員、児童70名、現地の障害者団体の代表者、ドクター、バンコク日本人学校の先生方、日本からのスタッフで総勢100名を超えるプロジェクトとなりました。

内容はバンコク日本人学校の先生による歌遊びのオープニングから始まり、マーブリング技法でディスクに色を染め付けるワークショップや、紙皿を使って日本から持参した和柄の折り紙をコラージュするワークショップを行いました。紙皿に折り紙で折った鶴を貼り付け、ケーキのようなディスクができたのには驚きました。



▲バンコク日本人学校の先生方によるオープニングの歌遊び「落ちた落ちた」



◀今回は高学年を中心に行いましたが、参加したそうに傍観していた低学年をお兄さんお姉さんの子ども達が自然に招き入れ、教えている場面もありました。



午後はフライングディスクのスローイング技法教室の後、ミニ競技大会も行いました。





最後に大会の表彰式と全体好評を行いました。

この学校の保護者は月の所得が1万円にも満たなく、栄養失調の子どもも多かったと聞きます。しかし、子ども達の心はとても豊か。笑顔もステキで礼儀正しかったです。また、勤勉でスポーツにおいても優秀な成績を収めています。これからもこの学校の子ども達の成長を見守っていかれたらと思います。



ナタニット校長先生にアキュラシーゴールとディスクを寄贈しました。



【タイ国スパンブリー県小学部教育委員会第3教育区ノンジクヤーウ村学校概要】

幼稚部年少組から小学部6年生までを対象に教育活動を行う。全校幼児、児童74名、教職員8名。学校をとりまく地域は、典型的な遠隔地農村で、小集落が散在しており、その人口は約1,400人である。学校の周辺には仏教寺院(隣接)、用水路がある。地域住民の主要な職業は農業であり、用水路があるため稲作がその中心である。住民のほとんどが仏教徒で、中部タイで見られる一般的な慣習を持っている。タイ正月における水かけの行事、入安居の際のろうそくを掲げての行列、その他の重要な祭日における行事がそれである。

児童の保護者の多くが、最終学歴小学校(4年生から6年生)である。保護者の95%が農業従事者であり、99%が仏教徒である。保護者の平均年収は、約5万バーツである。家族の構成人数は一家族あたり平均4人である。

学校は仏教寺院に隣接し、水田と用水路に囲まれている。ノンヤーサイ郡の中心部および町の市場から10キロも離れた遠い場所にあり、町の中心部から学校までは公共の交通機関が全くない。学校は、隣接する寺院から支援を受けることができ、また寺院以外にも地域の行政機関などから常に学校教育に対する支援を受けている。

学校は、依存薬物撲滅学校事業に参加し、薬物依存の児童は皆無である。